

年次継続監視評価表(令和6年度)

1 基礎情報

対 象 施 設	春日部市心身障害者通所支援施設
施設の設置目的	通所支援施設は、在宅の心身障がい者に対して、自立訓練及び支援活動の場を提供し、社会的自立の助長を図ることを目的としている。
施設所管部署	福祉部 障がい者支援課
指 定 管 理 者	社会福祉法人 春日部市社会福祉協議会
指 定 期 間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
指定管理業務内容	(1)春日部市心身障害者通所支援施設条例第3条に規定する業務 (2)施設に通所している通所者の支援に関する業務 (3)施設(設備及び物品を含む。)の維持管理に関する業務 (4)その他、仕様書に定める業務

2 施設利用状況の推移

区 分	過去3年間の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数(件数)	22,093人	20,211人	19,163人	18,390人	18,074人	
対前年度比	-	▲ 1,882人	▲ 1,048人	▲ 773人	▲ 316	

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区 分	回答者数	満足度				
		職員の対応	利用者様への対応	作業工賃	施設行事	全体
上半期	53人	96%	98%	83%	96%	99%
下半期	56人	98%	97%	90%	93%	94%
利用者の主な意見・要望等	配布物は紙ではなく、電子媒体が良い。(ゆりのき) 年に2回ぐらいはバスでお出かけがあったら良いと思う。(あおぞら)					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内 容	開催回数	参加者数等
販売事業	出店、出張販売	45回	111人
研修・訓練	施設外研修・訓練	11回	168人

5 施設内修繕等

(単位:円)

修繕箇所・修繕名等	内 容	金 額
ふじ支援センター	なし	0
ゆりのき支援センター 2回	トイレドア、トイレ漏水修繕	89,650
リサイクルショップ 1回	軒下修繕	64,900
ひまわり園	なし	0
あおぞら 2回	多目的室ドアノブ、トイレ内手洗い水栓修繕	63,558

6 収支状況

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合 計
収入額 A	141,328,108	158,457,879	158,813,800	159,553,516		618,153,303
内、指定管理料 a	0	0	0	0		0
内、給付費収入	136,037,339	135,846,068	138,627,801	138,894,072		549,405,280
支出額 B	127,691,426	145,869,285	158,813,800	159,553,516		591,928,027
内、人件費	100,299,419	106,389,199	112,042,193	104,820,914		423,551,725
収支額 A-B	13,636,682	12,588,594	0	0		26,225,276
対前年度比	-	-	-	-		-
想定事業費 C	209,352,007	221,440,086	217,421,607	248,912,602		897,126,302
削減額 C-a	209,352,007	221,440,086	217,421,607	248,912,602		897,126,302
特記事項 (増減額の説明等)						

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	・リサイクルショップの雨どい破損 ・ふじ支援センター敷地内の除草
第2四半期	A	不適事項なし
第3四半期	A	不適事項なし
第4四半期	A	不適事項なし

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがいないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		直接支援員の利用者への支援態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		20 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
さまざまな場所で自主製品を販売し、多くの市民から好評を得ている。 経費については指定管理料を支払うことなく、想定事業費の全額が削減されている。
指導に対する対応・改善状況について
第一四半期で指摘のあった事項については、改善済である。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)
施設利用者アンケートでは高評価を得ているものの、利用状況では、年々減少傾向にあり、利用者の現状と方向性についての検討は必要と考える。 事業計画書で提案された内容については適切に実施されており、出店や出張販売への積極的な参加や多くの企業や団体からの受注事業により生産活動の場を提供することができていた。今後もサービス水準を維持し適切な施設の管理運営を行い、指定管理を継続していく。

令和6年度の評価結果	A
------------	---